

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生情報ビジネス専門学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成30年7月6日

校 長 竹 口 伸 一 郎

自己点検・評価責任者

校長代行 荒木 俊弘

学校関係者評価報告書

麻生情報ビジネス専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員会 出席者	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 7 -
基準 5 学生支援	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 11 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 12 -
基準 9 は評価対象外	

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生建築&デザイン専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属	部署・役職
保護者	中西 はるみ	情報工学科	在校生保護者
卒業生	中園 晴久	平成6年度 情報経理科	卒業生
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区	自治会長
企業	牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 株式会社 サンレイズ	企画調査委員会 委員長
企業	土井 隆徳	社団法人福岡県情報サービス産業協会 株式会社 ジャステック	産学連携チーム
企業	芦原 秀一	株式会社ネットワーク応用技術研究所	取締役
企業	高岡 宏光	三井情報株式会社	西日本営業部 西日本営業第三室 室長
企業	開 道雄	キーウェア九州株式会社	経営管理部 担当部長
企業	岡部 浩太郎	SCSK九州株式会社	ビジネスシステム部営業課 担当課長
企業	竹末 雅輝	株式会社システナ	福岡開発センター センター長
企業	金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社	第1システム本部 部長
企業	白根澤 信孝	ユニアデックス株式会社	九州エクセレントサービス第二統括部 システムサービス二部 部長
企業	小林 憲一	小林憲一税理士事務所	所長

企業	沖田 敏治	株式会社アイスリーラボ	代表取締役
企業	伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会	教育事業部教育推進グループ セクションチーフ
企業	福田 史裕	株式会社マトリックス	福岡開発室 技術開発課 課長次席
企業	今治 智隆	株式会社ヴァイス	代表取締役 社長
企業	森 りょういち	株式会社 FOREST Hunting One	代表取締役 社長
企業	矢野 修作	株式会社ディーゼロ	代表取締役

※区分別、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年7月6日（金）14：30 ～ 15：30

場 所：麻生塾福岡キャンパス 10号館 2階 講堂

5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S:達成度がきわめて高い

A:ほぼ達成している

B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)

C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

学校の教育理念等については設立当初より明文化し、社会に対してはホームページにて公表している。本校の理念や目的は法人の理念を基に展開しており、当該年度の事業計画書や麻生塾ルールブックに掲載し各教職員で共有している。学生に対しては、学生便覧に掲載し共有、指導するとともに、グローバルシティズンベーシック教育(GCB 教育)を通して麻生塾の卒業生としてふさわしい態度や考え方を育むようにしている。

見つかった課題

特に無し。

改善策又は改善の方向性

特に無し。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

専門分野における教育の質および麻生塾オリジナル教育(GCB)について、高い評価をいただく。今後も更なる質向上に取り組んでいかれたい。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

パンフレット及びホームページにて年度毎に公開している。教職員についてはルールブックに記載し、全員へ配布周知している。学生には、入学時に学生便覧を配布し説明を行っている。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

教職員についてはルールブックに記載し、全員へ配布周知している。学生には、入学時に学生便覧を配布し説明を行っている。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

学生便覧に記載し、新入生オリエンテーション等の導入教育にて新入生全員に周知している。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などは、職業実践専門課程での委員会において毎年度見直しが図られている。「学校の教育理念」については教職員全体で毎年度確認し公開している。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

教育目的や育人人材像については毎年の事業計画において検討、見直しを行っており、事業計画自体は本部の承認が必要なことから全体との整合性が取れている。職業実践専門課程において定められた文書にて管理しておりホームページ等で年度毎の最新情報に更新し公表にしている。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

教育計画については文書化しており、年初にレビューすることで教員間にて共有している。また Web サイトや印刷物等で社会に公表しており、パンフレットについては、年度毎の最新情報に更新している。また、職業実践専門課程において定められた文書にて管理しておりホームページで年度毎の最新情報に更新し公表にしている。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

カリキュラムについては「顧客は企業である」という考えのもと、企業のニーズ、業界のニーズを把握するために企業対応の窓口である就職担当者の企業からのヒアリング内容やインターンシップ先企業からのコメント、卒業生が就職した企業からのアンケート結果も含めて教育課程編成委員会で検討を行い、その結果をカリキュラムとして作成している。カリキュラムは定期的に見直ししており、見直す際には全教員が集まったの検討会議を行なうことにしている。またカリキュラムはホームページを通じて社会に公表している。カリキュラム完成後は科目ごとにシラバス、コマシラバスの作成を行い、教育活動としての PDCA サイクルを回している。なおシラバスについては学生にも配布している。

見つかった課題

カリキュラムポリシーの整備ができていない。

改善策又は改善の方向性

カリキュラムポリシーの整備。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

カリキュラムポリシーの整備及び離職防止のための施策の取り組み、IoT 教育の追加を非就職年次の就職教育の強化について更なる取り組みの要望をいただく。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果：B

■中項目総括

カリキュラム会議を教務中心に定期的開催しており、教育課程編成委員会で検討しカリキュラムを作成している。

但し、カリキュラムポリシーの作成と運用実施が必要。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：C

■コメント

カリキュラムポリシーの作成と運用実施が必要。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

カリキュラムについては、職業実践専門課程委員会において検討し、カリキュラム会議で見直しを図っている。カリキュラムは非常勤講師には講師会で共有するとともに、ホームページで広く公表している。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

カリキュラムおよびシラバスは修業年限分を文書化している。印刷物による配布など、学生に周知させる方法は、パンフレット、学生要覧、口頭説明で周知し有効・適切である。コマシラバスは各教員で作成しており、更なる充実を図っていく。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教育課程編成委員会およびカリキュラム会議にて、顧客ニーズを反映しており、広報・就職担当者については定期的な会議で意見をカリキュラムに反映している。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

科目毎のコマシラバスを作成し、教師間で共有している。又、各シラバスに実施状況の記録を残す事で整合性の確認を行っている。見直しについては実施状況の記録を基にカリキュラム会議で検証をしている。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■中項目総括

教育方法については適切におこなわれている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

カリキュラムにのっとり適切な授業の方法を行っている。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

シラバス・コマシラバスを作成し実施。また、授業の概略・到達点の周知も実施している。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

全ての科目で正試験及正試験に準ずる方法で評価している。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

教員研修については全般的な分野を教育推進グループが担っており、必要な研修に参加することで能力向上を図っている。専門分野や担当分野については目標設定シートや業務遂行評価シートで状況を把握し、必要に応じて学外研修に参加することで能力向上を図っている。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

授業アンケートの結果に基づき、必要に応じて教員に対しての指導を行い、改善策を検討している。改善したかどうかについて

は、ミニアンケートを活用して早期に判断ができるようにしている。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

検定取得を目指す教科を中心に、定期的に担当者間で会議を行なうことで改善に取り組んでいる。また授業見学や研修を通して改善活動がなされており、管理職にて計画を共有し、進捗管理している。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

教員研修については全般的な分野を教育推進グループが担っており、必要な研修に参加することで能力向上を図っている。専門分野や担当分野については目標設定シートや業務遂行評価シートで状況を把握し、必要に応じて学外研修に参加することで能力向上を図っている。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果：**S**

■中項目総括

企業との連携を強化し業界セミナー・コンテスト・研修旅行での企業訪問を実施し業界のニーズに対応している。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

それぞれの学科の専門性に即した企業との連携によりインターンシップを実施している。業界の特性によりインターンシップを取り入れにくい学科があるが、大学でも取り入れられている「逆インターンシップ」を行なうことで、社会で必要なスキルを理解させている。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

早期のキャリア教育として就職年次の前年に「就職実務」を取り入れることによりキャリアの発達を促している。さらに全学生に対して、シラバスに則った GCB 教育を実施している。1 年次、2 年次と段階を経た内容を行なうことにより、感謝心、志を持つ自立した社会人となることを目指している。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

新入生に導入前教育としてEラーニングを取り入れ、基礎学力の底上げを図っている。基礎学力テストや学力共通試験を実施し、学力の把握をしている。専門授業を行う際に支援が必要な場合は、補講という形でフォローしている。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教員の採用に関しては複数回の面接と模擬授業を実施してもらって可否を判断しており、採用後は指導担当者を配置してOJTを行なっている。教員組織としては3分野に分かれての運営を行なっており、それぞれの分野に応じた運営を行ないつつ、各分野の情報共有を行いながら活性化させている。

学校として基本となる施設、設備については充実しており、かつ良好に管理ができています。安全確保についても十分に配慮している。

見つかった課題

特に無し

改善策又は改善の方向性

特に無し

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

非常勤講師についても、研修を行っていただきたい。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

教育環境については年度末に教育支援グループ・学事グループと協議し、教室設備の見直し、教員配置の確認を行い課題を抽出し対応している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

職業実践専門課程及び文部科学省専門課程認定校の基準遵守を目的に教育支援グループ・学事グループと協議し実施。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

職業実践専門課程及び文部科学省専門課程認定校の基準遵守を目的に教育支援グループ・学事グループと協議し実施している。

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

組織の整備はできているが非常勤を含めた教員の質を高めていく必要がある。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

本校は3分野に分かれての運営を行なっており、それぞれに責任者がいることで適切に運営している。各学科共に必要な資源は確保しているが、担当科目数の見直しなど、より充実した運営を行なう方針である。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

日々の授業においては授業コマ毎の授業報告書にて情報交換をしている。前期末、後期末の年2回振り返りのミーティングを行っている。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

設備整備に関しては事業戦略グループと連携し年度毎に教室見直し及び設備の補充等を行い適切に対応している。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

今後の再整備の強化。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたうえで実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

学外実習時には条件を記載した文書を元に、誓約書を作成している。又、学外実習実施前に事前研修を行い安全管理を含めた対策としている。学内実習については危険が伴うような実習は行なっていない。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

今後の再整備の強化。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

求人票や企業情報を得る事ができる場所としてキャリアサポートセンターを設置している。又、専門職員による就職指導の場として利用している。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

総合的図書室の設置運用と併に、それぞれの専門分野についての資料も設置され、教職員、学生の利用ができる状態になっている。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

「質の高い教育サービスにより学生の付加価値を高め、顧客である企業の求める人材を育成し社会に貢献します」というミッションのもと、全てにおいてPDCA サイクルを常に意識しながら指導を行っている。

教育活動の成果としての成績、検定取得、退学者等の目標値については事業計画を年初に全教員にレビューしている。進捗状況については毎月、クラス運営報告書として各クラスの状況を報告し、その状況を定期的な学科会議、主任会議、検定担当で振り返っている。さらには月例会議にて学校全体で状況を共有すると共に進捗を確認し、軌道修正が必要なものについては修正を行っている。

生活指導、学習指導、就職指導の結果については学校ホームページで公表している。

卒業生の記録についてはデータベースで管理しているが、変更の都度に更新がなされていない部分もある。

見つかった課題

特に無し

改善策又は改善の方向性

特に無し

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

教育実績および就職・検定・国家資格・コンテストの実績について、概ね高い評価を頂く。今後も更なる質向上に取り組んでいただきたい。

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

教育達成度の評価を行い資格取得・コンテスト実施結果を公表している。

小項目 4-1-1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

卒業の認定基準を明確にし学生につたえてる。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

教科毎評価成績の目標についてはシラバスに記載している。結果については、前期・後期の全教科成績を管理職にて確認し検証している。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

適用除外

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

検定試験やコンテストの目標値については事業計画書に記載しており、全教員が認識している。状況や結果については教科の担当者会議で共有を行っており、その中で見直し、対策立案を行っている。合格実績については検定結果報告書で上位者に提出し、必要に応じて担当者に指示を行なっている。さらに結果を振り返り、カリキュラムに反映させている。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果:S

■コメント

目標数値については事業計画書に記載し全教員が共通認識している。進捗状況については、毎月曜日に状況確認を行い、さらに学科ごとの月例会議にて受験状況の確認を行っている。学生個々の活動状況は逐次更新を行い、教職員で共有できる状態にしている。効果的な取り組みや参考事例については、就職研修と学科会議で共有し、質の向上に努めた。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

目標数値は事業計画書に記載し全教員が認識している。学生の生活状況については学科ごとの月例会議にて確認を行っている。学生対応の記録としてガイダンス記録表を作成し、教職員間で状況の共有を行っている。退学者数については、学科毎に Web サイトにて公開している。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

本校には教務をサポートするキャリア支援本部、経営推進本部という組織があり、教育推進グループ、広報グループ、就職グループ、学生支援グループ、国際交流センターが入学前から卒業後までを横断的に支援している。また指導内容を含む学校情報は主に広報グループがホームページを通じて公表している。

基準4の学生指導の中には学生や保護者との面談も含まれており、カウンセラーとの連動など必要に応じた対応をとるよう担任や上位者が指導している。指導時には面談記録の提出が義務付けられており、学校全体で共有できている。

留学生や社会人、障がい者も受け入れており、即戦力となるように指導している。

見つかった課題

特になし。

改善策又は改善の方向性

特になし。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

留学生等ブリッジ SE の育成および管理職及び経営者レベルの卒業生とのコミュニケーションの強化の方法を取り組んでもらいたい。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

教務部門に就職専任スタッフを配備。また、学生相談専門部門と連携しストレスケアへの対応を行っている。また、就職及び生活に関する指導は担任のガイダンス及び主任・校長代行の面談にて連携し対応している。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

新入生の入学式後に行う面談の他、ガイダンス実施マニュアルに則って学生の状況に応じた面談を実施し、面談内容をガイダンス記録表に残している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

計画的に相談会・面談を実施している。三者面談の内容を面談記録又はガイダンス記録に残している。年間計画(ターム表)をたて、実施している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

キャリアカウンセラー有資格者を配置している。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

スクールカウンセラーが週1日來校し、希望する学生の面談を行っている。コミュニケーション能力・人間関係能力が不足している学生の相談については、キャンパスライフサポートセンターにて受けている。また、相談方法は学生便覧に掲載している。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学生便覧にハラスメントに関する内容を記載しており学生に周知している。ハラスメント委員が研修に参加している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

日々の生活指導、教科指導については担任を中心にサブリーダー、リーダー、副主任、主任にて対応しており、必要に応じて支援を行なっている。留学生の支援については国際交流センターを設置している。社会人、障がい者の就職については就職スタッフと共に支援をしている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

課外活動にかかわる規定が文書化・公開されており、規定は学生に周知されている。教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行なっている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

卒業生再就職支援・校友会での年度交流会及び就職スタッフによる就業後の面談等にて支援を行い学校との連絡が密にとれる状況を構築している。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、○年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

卒業生の就職先に対し、業界別に就業1年、3年経過後の在籍状況のアンケートの実施と分析を行っている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生募集については広報グループ、学生支援グループを中心に教務や就職グループも加わり、募集内容の検討、見直しや選考を行っており、問題はない。

見つかった課題

特に無し。

改善策又は改善の方向性

特に無し。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

留学生・障がい者学生への就職支援また学生の相談室であるキャンパスライフサポートセンターの取り組みにて高く評価をいただく。今後も継続して取り組んでいただきたい。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果:S

■中項目総括

募集要項の記載内容を遵守し適正に行っている。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、アドミッションポリシーを明示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

広報部門と連携し今年度は連携授業等の取り組みを強化している。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

パンフレット及び麻生塾 Web サイトに、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を実績に基づいた数値で明示している。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

パンフレット及び麻生塾 Web サイトに、学科毎の育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、学費・教材費等を明示している。学費についてはキャリア支援本部と協議を行い妥当性のある金額にしている。教材費等については、各学科のカリキュラムに合致した教材等を教務で協議し妥当性、透明性のある金額にしている。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、入学者の選抜方法を明示している。入学者選考は、入試実施マニュアルに沿って公正かつ適切に実施されている。実施方法・選考基準については募集要項作成時に経営推進本部と検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

募集定員に則って適切に入学者を受け入れ、在籍学生数をMM資料(在籍学生数)にて管理している。募集定員については、教育内容、教育環境、業界の人材ニーズ等に対応した学科定員を毎年検討し、関係法令・施設の収容状況に応じ

た管理・運営をしている。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

企業、地域、行政等と連携をとりながら社会的活動に力を入れている。この数年は地域貢献を目的とした企業とのコラボレーションも行われており、教育活動に役立っている。また、毎年3月に実施している「お仕事スタジアム」は高校生のみならず、大学生や中学生の参加もあり、地域貢献活動の一環となっている。

見つかった課題

特になし。

改善策又は改善の方向性

特になし。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ボランティア活動の強化を行ってほしい

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

教務部門及び広報部門、本部部門と連携し教育的活動の公開イベントあわせ地域住民との交流イベントを実施している。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果: S

■コメント

事業計画に沿った内容でボランティア活動を推進しており、推進役として校務分掌にてボランティア委員会を設置している。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

地域の中学校にて職業理解講座を実施。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

職業実践専門課程の学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において企業や地域との連携を実施している。連携先は随時、見直すことにしている。毎年3月にお仕事スタジアムを開催し、職業紹介の講座を実施し、地域貢献の一助とした。

基準 8 管理運営・財務(学校・グループ)

基準 8 総括

学校の管理、運営体制については経営推進本部が中心となって検討、実施されており、規程等の文書化も適切に行なわれている。非常時の対応については教員向けの訓練を行なっている。

見つかった課題

特に無し。

改善策又は改善の方向性

特に無し。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

学生への避難体制及び避難訓練について、更なる強化を行っていただきたい。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

ルールブックに記載し規程通りに運営している。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行ない、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議を定期的に行っており、担当者が参加している。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

年度初めに行事担当、検定担当、授業担当などを作成し、教員に周知している。職務に必要なスキル向上については別途、人材育成の中で行なっている。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果:A

■コメント

教職員向けの避難訓練を定期的実施しており、マニュアルもその都度配布している。教職員向け防災マニュアルと学生向け避難訓練マニュアルは年度初めに更新している。全学年を対象とした避難訓練は実施。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

個人情報保護の対象となる文書の一覧とその取扱いについて全教職員に配布し、処理を適切に実施している。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

ハラスメント委員により、ハラスメントに関する文書は全教職員に配布し、全教職員が意識して行動している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果:B

■コメント

新たに配属された職員への研修計画を実施行う必要がある。

=====

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果:A

■中項目総括

学校全体の年度収支ならびに月次での管理を実施している。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

年度予算に従って管理運営が厳格に行なわれている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

毎月部門長によって月次での予算管理が行なわれている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果:S

■コメント

固定資産管理規程を作成しており、適切に管理されている。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果: _____

■コメント

適用外

=====

基準 10 改革・改善・情報提供

=====

基準 10 総括

自己点検に関する活動がある程度認知できている。

見つかった課題

特になし。

改善策又は改善の方向性

特に無し。

■学校関係者評価結果: **適 正**

学校関係者評価 評価者のご意見

定期的な研修を踏まえ今後の点検活動の強化を行ってほしい。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果: **B**

■中項目総括

自己点検についてはイントラを活用して教員全体での評価を行ない、改革・改善項目の共有を行っている。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

今年度は年度末に1回全教員による評価・点検を行なった。今後も全教員が評価ポイントを十分に把握した上で評価・点検、改善を実施する。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

28 年度 B 評価項目の改善をおこなった。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

ホームページでの公開及び学校関係者評価委員での説明を行っている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施計画を策定し実施を推進しているか。【教育支援本部】

■自己点検・評価結果: _____

■コメント **適用外**

小項目 10-1-5

各校・各グループの報告書を集約し、全体報告書を作成しているか。各校の報告書は Web サイトで公開しているか。

【教育支援本部】

■自己点検・評価結果: _____

■コメント **適用外**

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■中項目総括

ホームページでの公開及び職業実践専門課程における会議にて説明を実施している。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

ホームページにて情報公開をしている。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

教育支援グループの指示の基に実施し、ホームページにも公開している。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果: **A**

■コメント

教育支援グループの指示のもとに情報提供の手段を工夫し実施している。